

# ゆうちょ銀行 決算の概要

## 当期の経営成績

(億円、%)

	2014/3期	2013/3期	増減
経常収益	20,763	21,258	△ 494
経常費用	15,113	15,323	△ 210
うち営業経費	10,950	11,107	△ 157
経常利益	5,650	5,935	△ 284
当期純利益	3,546	3,739	△ 192
業務純益	4,726	5,128	△ 401
貯金残高 <sup>※1</sup>	1,766,127	1,760,961	+ 5,166
単体自己資本比率 (国内基準) <sup>※2</sup>	56.81	66.04	
金融再生法に基づく 開示債権	—	—	—
不良債権比率	—	—	—

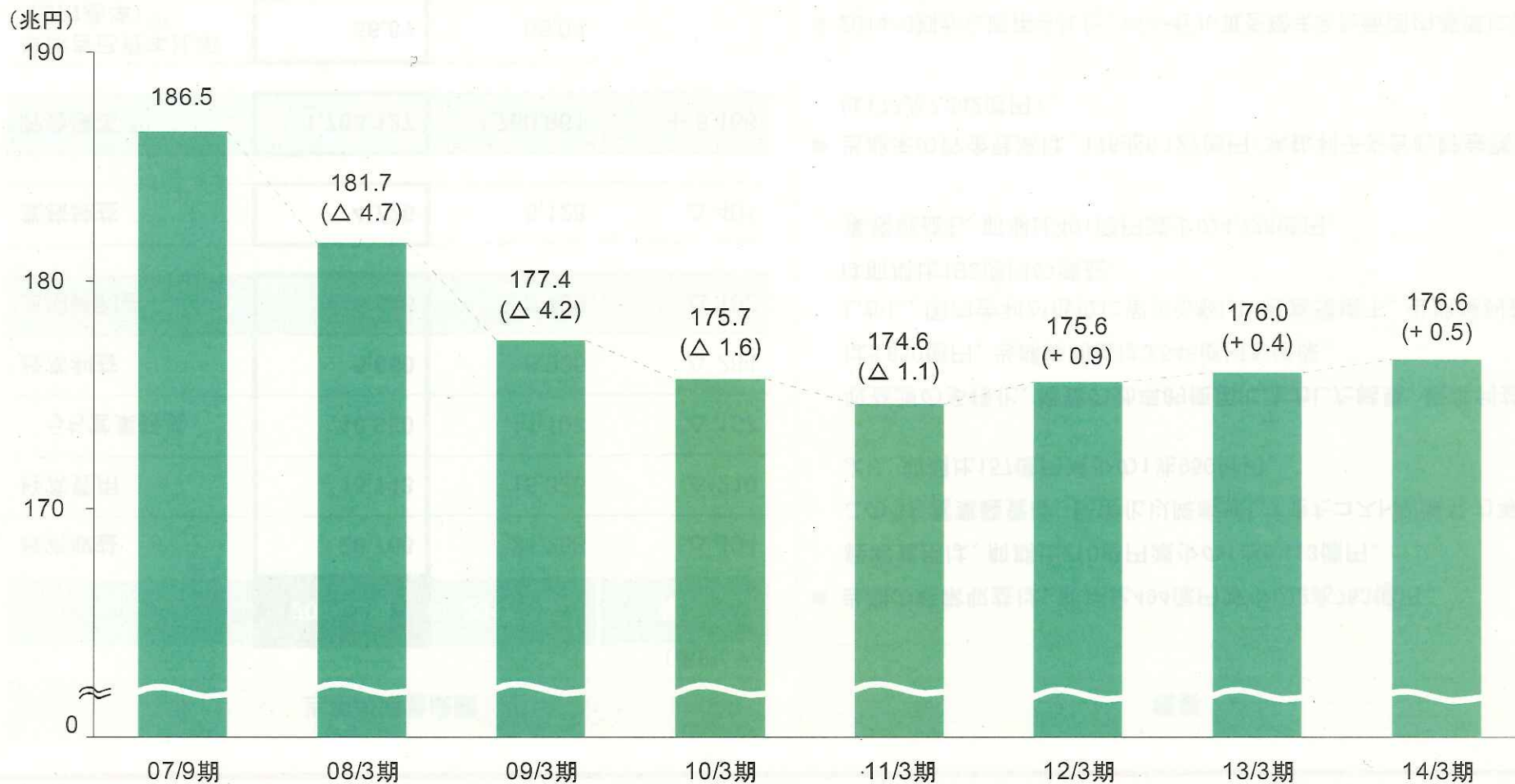
※1 未払利子を除く。 ※2 2013/3期は旧国内基準(バーゼル2.5)によっていたため、単純な増減は示していない。

## 概要

- 当期の経常収益は、前期比494億円減少の2兆763億円。経常費用は、前期比210億円減少の1兆5,113億円。このうち営業経費は、民営化以降継続してきたコスト削減努力等により、前期比157億円減少の1兆950億円。  
  
収益源の多様化、経費の効率的使用に注力した結果、経常利益は5,650億円、当期純利益は3,546億円を確保。  
しかし、国内金利が低位に留まる厳しい経営環境下、当期純利益は前期比192億円の減益。  
業務純益も、前期比401億円減少の4,726億円。
- 当期末の貯金残高は、176兆6,127億円(未払利子を含む貯金残高は177兆7,342億円)。
- 2014/3期から適用された、バーゼルⅢを踏まえた新国内基準に基づく単体自己資本比率(国内基準)は、56.81%。
- 金融再生法に基づき開示すべき債権はない。

# ゆうちょ銀行 貯金残高の推移

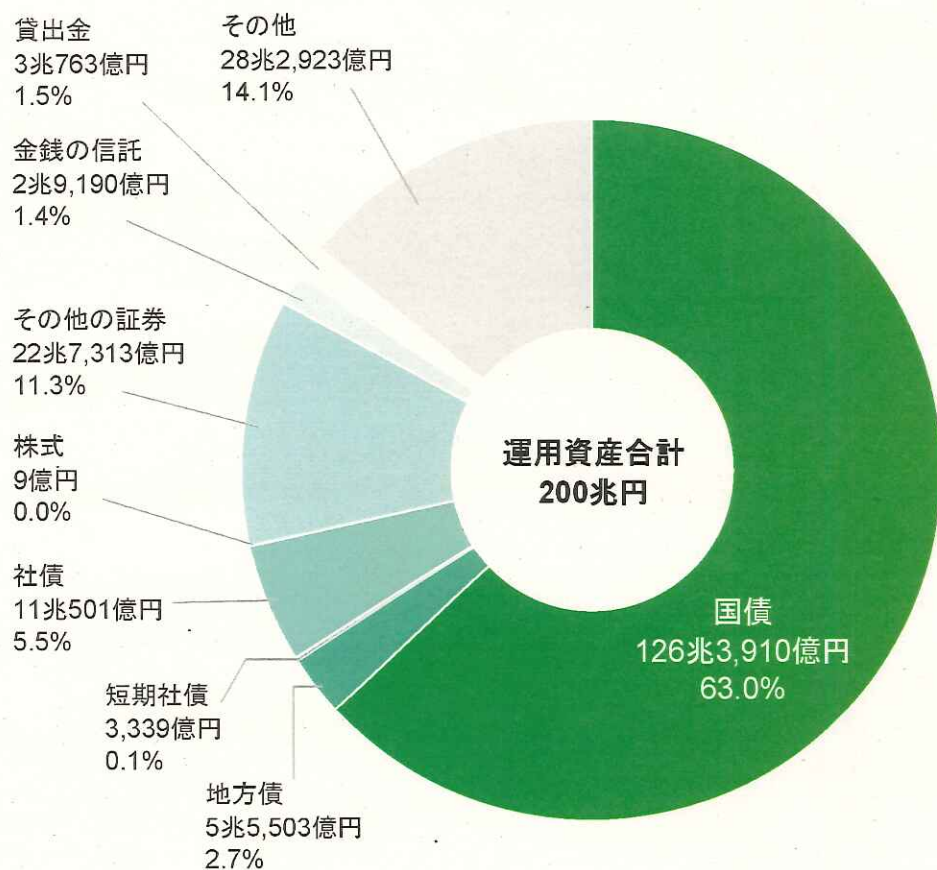
■ 郵便局との連携による営業推進態勢の強化により、当期末の貯金残高は前期末比0.5兆円増の176.6兆円を確保。



注：未払利子を含んでいない。また、2007/9期は日本郵政公社の残高であり、民営化以降取扱う貯金を一部変更している。  
注：小数第2位以下の端数は切捨て。

# ゆうちょ銀行 運用資産の内訳

■ 運用資産は、国債を中心とした有価証券が166兆円、貸出金が3兆円。



区分	(億円)			
	14/3期	構成比 (%)	13/3期	構成比 (%)
貸出金	30,763	1.5	39,679	2.0
有価証券	1,660,578	82.8	1,715,965	86.8
国債	1,263,910	63.0	1,381,987	69.9
地方債	55,503	2.7	58,060	2.9
短期社債	3,339	0.1	5,489	0.2
社債	110,501	5.5	113,040	5.7
株式	9	0.0	9	0.0
その他の証券	227,313	11.3	157,378	7.9
金銭の信託	29,190	1.4	30,388	1.5
その他*	282,923	14.1	190,617	9.6
<b>運用資産</b>	<b>2,003,455</b>	<b>100.0</b>	<b>1,976,651</b>	<b>100.0</b>

※「その他」には預け金、コールローン、債券貸借取引支払保証金等を含む。